



オプトマ ポケットプロジェクター PK102

取扱説明書

pocket projector PK102



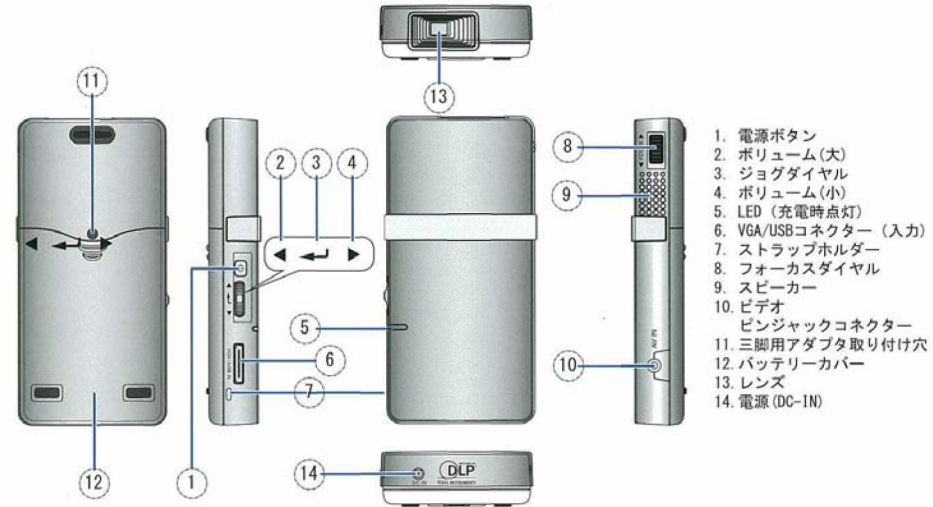
Pocket Projector

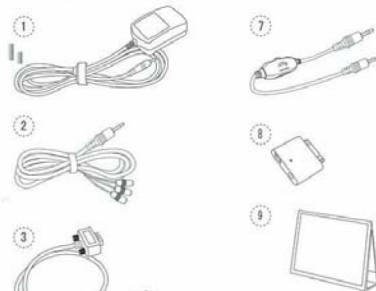


PN: 36.8BU06G001-A



<http://www.pocket-pj.com>



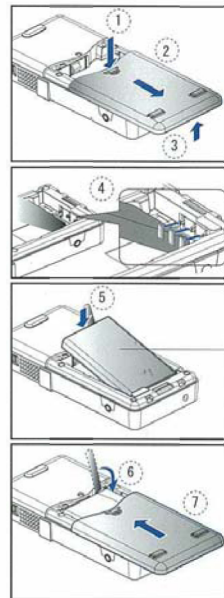


《付属品》

1. 電源ケーブル(DCコネクタ)
2. AVケーブル
3. VGAケーブル
4. USBケーブル
5. バッテリー2個
6. 三脚用アダプター

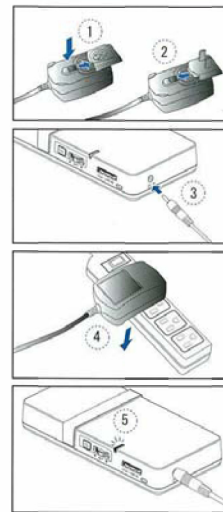
《オプション》

7. DWA-010 iPod/iPhone専用AVケーブル(別売)
8. DWA-010用アダプター(別売)
9. NS-01W/B/Gノートスクリーン(別売)



1. バッテリーカバーを取り外します。(①～③)
2. バッテリーの印刷面を外側にして、接点部分を本体の爪に合わせて差し込みます。(④～⑤)
3. バッテリーカバーを元に戻します。(⑥～⑦)

印刷面

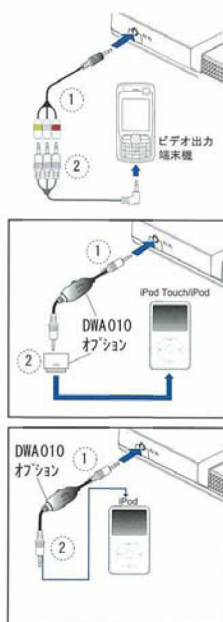


1. DCコネクタの保護カバーを外し、AC用プラグを取り付けてください。(①～②)
2. 本体後ろの穴に、ケーブルのピンジャックを差込んでコンセントとプラグをつなげてください。(③～④)
3. 充電中はLEDインジケータが赤く点灯します。
4. バッテリーの充電が完了するとLEDインジケータが消えます。(⑤)
約2時間半で充電が完了します。

《ノート》

1. バッテリーが本体に装着されていない場合にも、AC電源のみでプロジェクターとして動作します。
2. 本体にバッテリーが装着されていない場合には、AC電源ケーブルが接続された状態でも、インジケータが赤く点滅します。

1. 各映像出力機の接続方法に従って接続してください。(①～②)



《ノート》

1. それぞれの映像端末は、専用の出力ケーブル②を必要とする場合があります。詳しくは各メーカーにお問い合わせください。
2. TVアウト機能を搭載したiPod/iPhone、または映像端末用に設計されています。オーディオ信号電圧が0.3Vrms以上のデバイスで使用することはお勧めいたしません。

ブランド・製品名はすべてそれぞれの企業の商標または登録商標です。



1. それぞれの機器の接続方法に従って接続してください。(①~②)

コネクターをPK102に差し込む際には、矢印側を上にしてください。

《ノート》

動画対応(AVI):

Video: XviD, DivX, MPEG-4
Audio: PCM Audio
Resolution: 320x240
Frame rate: 30fps以下, 25fps推奨
Bit rate: 768kbps以下, 4096kbps推奨

写真: bmp, jpeg

VGA: 640x480, 800x600

※ 動画形式が多様なので、PK-102メモリー中がVideo Encoderプログラムを含んでいます。USBをパソコンに接続して、またホームページ(<http://www.pocket-pj.com/>)をダウンロードしてください。放送したい動画にとって、事前に動画形式を変換してください。

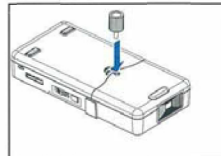


2. USB接続

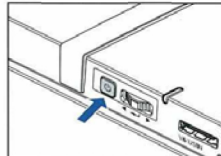
《ノート》

5V/150mAまでのUSBフラッシュドライブに対応します。

USBハードディスクドライブは作動いたしません。

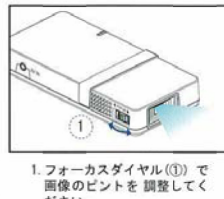
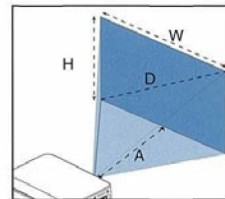


1. 付属の三脚アダプタをプロジェクターのねじ穴にねじ込みます。
2. 標準の三脚を三脚アダプタに取り付けます。



1. Power(電源)ボタンを押します。

投写距離 (A)	スクリーンサイズ* (W)	スクリーンサイズ* (H)	スクリーンサイズ* (D)
m	mm	mm	mm
0.250	106	71	127
0.500	265	176	318
0.800	423	282	509
1.000	529	353	636
1.500	794	529	954
2.000	1058	705	1272
2.500	1323	882	1590
2.636	1395	930	1676



1. フォーカスダイヤル(①)で画像のピントを調整してください。

メインメニュー



◀▶ 回す
← 押す

PK102は、投写した画面(オンスクリーンディスプレイ: OSD)上のメニューにより様々な調整が出来ます。

1. 外部入力信号のない状態で電源スイッチを入れ、Optomaの文字が消えるとOSDが投写されます。
2. ご希望のメニューを選びます。(◀▶)
3. ジョグダイヤルで確定します。(←)
4. アイテム画面が出たら、ジョグダイヤルを回し選びます。(◀▶)
5. 確定します。(←)

《ノート》

最初にPK102をお使いになる時は、通常お使いになる言語を、OSDのスタートアップメニューからお選びください。

アイテム



スタートアップメニュー

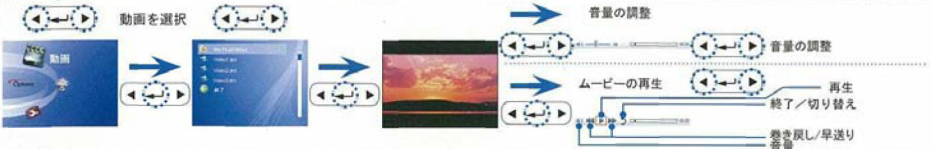


◀▶	メニュー/確定
◀	ボリューム(大)/上
▶	ボリューム(小)/下

《ノート》

動画対応(AVI):
Video: AVI/50/60/30FPS-4
Audio: PCM Audio
Resolution: 220x140
Frame rate: 30FPS/25FPS/22FPS/20FPS
Bit rate: 768Kbps/512Kbps/448Kbps
写真: bmp, jpeg
VGA: 640x480, 800x600

※ 動画形式が多様なので、PK-102メモリー中がVideo Encoderプログラムを含んでいます。USBをパソコンに接続して、またホームページ(<http://www.pocket-nj.com/>)をダウンロードしてください。放送したい動画によって、事前に動画形式を変換してください。



オンスクリーンディスプレイ上のメニューの使い方 (USBデータ転送)

←	メニュー/確定
▶	ボリューム(大)/上
◀	ボリューム(小)/下

※ ノート
動画対応(AVI):
Video: 2xD 150 MPEG-4
Audio: PCM Audio
Resolution: 320x240
Frame rate: 30fps/25fps/23.976fps
Bit rate: 30Mbps/15Mbps/12Mbps
写真: bmp, jpeg
VGA: 640x480, 800x600

※ 動画形式が多様なので、PK-102メモリー中がVideo Encoderプログラムを含んでいます。USBをパソコンに接続して、またホームページ(<http://www.pocket-pj.com/>)をダウンロードしてください。放送したい動画にとって、事前に動画形式を変換してください。

USBデバイスの挿入



1. デフォルトのフォルダは/USBです。
2. *.jpegと*.bmpファイルのみが表示されます。

1. デフォルトのフォルダは/USBです。
2. *.jpegと*.bmpファイルのみが表示されます。

オンスクリーンメニューの使い方 (外部映像信号出力)

外部信号を受けると自動的に映像を投射します。

←	メニュー/確定
▶	ボリューム(大)/上
◀	ボリューム(小)/下

※ ノート
動画対応(AVI):
Video: 2xD 150 MPEG-4
Audio: PCM Audio
Resolution: 320x240
Frame rate: 30fps/25fps/23.976fps
Bit rate: 30Mbps/15Mbps/12Mbps
写真: bmp, jpeg
VGA: 640x480, 800x600

※ 動画形式が多様なので、PK-102メモリー中がVideo Encoderプログラムを含んでいます。USBをパソコンに接続して、またホームページ(<http://www.pocket-pj.com/>)をダウンロードしてください。放送したい動画にとって、事前に動画形式を変換してください。

ジョグダイヤルでメニューを出します。



ビデオ

VGA

コンピューターの外部出力方法はその機種ごとの仕様に従ってください。

※ ノート

VGAケーブルが接続されている時のみ表示されます。

- ブライモード: 最大値設定
- ECOモード: 省電力設定
- フロント投写正体
- リア投写正体 (左右反転)
- フロント投写 (上下反転)
- リア投写 (上下反転)
- 画面の横縦比4:3
- 画面の横縦比3:2
- バッテリー残量 (フル充電)
- バッテリー残量 (半分)
- バッテリー残量 (残り僅か)
- 画像設定: 周波数、位相および水平位置機能を調整できます。
- 水平位置 水平位置を調整します。

位相: ディスプレーデータ周波数を変更して、コンピュータのグラフィックカード周波数に適合させます。画像が垂直方向にフリッカして見える場合にのみ、この機能を使用してください。

周波数: ディスプレーの信号タイミングとグラフィックカードを同期化します。画像が不安定だったフリッカしているように見える場合、この機能を使用して修正してください。

ジョグダイヤルを5秒以上操作しなかった場合には、OSDのメッセージは消えてしまいますので、ご注意ください。

万が一お使いのPK102にトラブルが生じた場合には、まず下記をご覧ください。それでも解決できない場合には、販売店、またはお客様相談室にお問い合わせください。

画像のトラブル

■ スクリーンに画像が映らない

- ・ ケーブルが正しく接続されていますか。
- ・ 接続するピンジャックが、曲がっていたり、破損していませんか。
- ・ 電源は入っていますか。

■ 画面のピントが合わない

- ・ フォーカスダイヤルを動かしてください。
- ・ 投写面までの距離が、0.2～2.636mの範囲内になっていませんか。(P. 5参照)

■ 画面が大きすぎたり、小さすぎたりする

- ・ 投写面までの距離は適切ですか。(P. 5参照)

■ 画像が逆さまになっている

- ・ OSDのセッティング画面で画面の反転、正体の設定は正しく行われていますか。(P. 7参照)

音声のトラブル

■ 音が出ない

- ・ ボリュームコントロールを確認してください。(P. 3参照)

バッテリーのトラブル

- ・ バッテリーがすぐ切れる
- バッテリーを取り外して、接点金具の汚れを取り除いてください。
- ・ バッテリーの寿命の場合には、新しい物に取り替えてください。(P. 3参照)

LEDインジケータについて

メッセージ	LED (赤)
稼動中または、電源オフ	○
バッテリー無しで充電しようとしている	●
バッテリー充電中	●
充電完了	○

- ・ ○:オフ / ●:点滅 / ●:オン

警告表示

- ・ Out of the range

・ バッテリーの残量警告

- 速やかにバッテリーの充電を行ってください。(P. 3参照)



PC

モード	解像度	垂直同期 (Hz)	水平同期 (kHz)
VGA	640x480	60	31.5
SVGA	800x600	60	37.9

Video

NTSC: M (3.58MHz), 4.43MHz

PAL: B、D、G、H、I、M、N

電源が切れてしまう

- バッテリー残量は確認しましたか。
- ACケーブルは根元まできちんと入っていますか。
- PK102は、映像信号が5分間無信号の状態が続くと、自動的に電源が切れるように設定されています。



目の安全に関する警告

- △ プロジェクターの映像(光)を直接目に当てないでください。障害を起こす場合があります。

- △ プロジェクターの光源を直接注視しないでください。

- △ プロジェクターの光源に向かって立たないでください。

- △ 鮮明な映像を得るために、ブラインドなどを使って周辺の光を抑えてください。

バッテリーの廃棄に関する注意

当製品はリチウムイオンバッテリーを使用しています。小型充電式電池の回収・再資源化の対象になっているリサイクルマークの付いた電池です。(資源有効利用促進法)
使用済みになった電池は、乾電池など他の電池と混ぜずに、地方自治体の条例に従い処分してください。

安全に関する警告

- このプロジェクターを水気や湿気のあるところで使用しないでください。感電の恐れがあるため、プロジェクターを雨や湿気にさらさないでください。
- ラジエーター、ヒーター、ストーブなど、熱を放出する装置の近くにプロジェクターを置いたままにしないでください。
- 直射日光下でプロジェクターを使用しないでください。
- 強い磁場を発生する電気製品の近くで使用しないでください。
- 大量のゴミや、埃の影響を受ける場所でプロジェクターを使用しないでください。
- 掃除をする場合には予め電源を切ってください。
- バッテリーを取り外す際には予め電源を切ってください。
- 長時間使用しない場合はバッテリーを取り出す事をお勧めいたします。
- 使用環境は温度5～35℃、湿度～80%の範囲内、非結露の環境でご使用ください。
- 60℃以上の環境下ではバッテリーを露出しないでください。
- 新しいバッテリーやしばらく使用しなかったバッテリーは、十分な充電がされていません。ご使用になる前にはフル充電をしてください。
- バッテリーを口に入れないでください。
- バッテリーの接点が他の金属物に触れないようにしてください。
- 製品を落としたり、曲げたり、強い衝撃を与えたりしないでください。
- 火の中に入ると、爆発する恐れがあります。
- 乾いた布で拭いてください。
- 製造元あるいは販売元の指定する付属品/アクセサリのみを使用してください。

- 物理的な破損状態、または正しく使用されなかった本体は使用しないでください。正しくない使用とは例えば次のような事を指します。
 - 本体を落下させた。
 - 充電器またはプラグが破損している。
 - 本体に液体がかかった。
 - 本体が雨や高湿度にさらされた。
 - 本体内部の異物または、部品の緩みにより内部で音が出る。
- お客様ご自身で修理を行わないでください。カバーを開けたり、取り外したりすると、危険な電圧やその他の危険にさらされます。販売店またはお客様相談窓口にご連絡ください。
- プロジェクター内部に、液体や小さな部品など異物が入り込まないようにご注意ください。これらは部品をショートさせたり、火災、感電の危険があります。
- 安全に関係するマーキングについては、プロジェクターの筐体をご覧ください。
- 装置の修理はかならず適切なサービス資格者が行います。
- プロジェクターは使用中に熱を持ちます。長時間のご使用の際には三脚などをご利用ください。

■ 古い電気設備および電子設備 の廃棄

(EUおよび個別の収集方法を持つその他のヨーロ
ッパ国に適用)

製品本体または製品パッケージに印刷されているこの
マークは、その製品を廃棄する際に家庭廃棄物として扱
うことが禁止されていることを示します。その製品は、電
気装置または電子装置をリサイクルするために定めら
れた収集場所に出す必要があります。製品を正しく廃棄
することで、環境や健康への悪影響を防ぎます。製品を
不適切な方法で廃棄すると環境や健康に悪影響を及ぼ
す可能性があります。材料のリサイクルは、天然資源の
保護に役立ちます。



このマークは、EU内でのみ
有効です。
この製品を廃棄する場合
は、地域の機関か販売店に
連絡し、適切な廃棄方法を
確認してください。

